

# なごやぬいぐるみ病院（学童）活動報告書

文責 名古屋大学医学部 2年 角田翔太郎

## 概要

実施日時：平成 22 年 8 月 31 日 10:20~12:30

実施場所：学童保育所ポピンズアフタースクール 愛知県名古屋市

対象：小学生 18 人 1~3 年生の低学年が 2/3 以上を占める

学生参加者：11 名（3 年 1 人、2 年 7 人、1 年 3 人）

## 当日の流れ

10:20~10:30	（着替え・病院のセッティング等を学生が行うため、学童は待機）
10:30~10:40	挨拶・自己紹介を行い、今日やることの説明、整理券を配る
10:40~12:20	ぬいぐるみ病院実施 4 ブース作り、各ブース 4,5 人を担当 整理券の番号順に学童を呼び、診察する 待合室では学童の先生が用意して下さった DVD を鑑賞。人手が足りなかったため、先生に待合室担当をお願いした
12:20~12:30	今日行ったことの復習+手の空いている学生で片づけ

ぬいぐるみ病院を行ってほしいという学童の要望と、学生の手不足により、今回はぬいぐるみ病院のみの実施となった

## 総括

<工夫した点>

実施前の学生同士の話し合い時に、本来 4,5 歳児向けであるぬいぐるみ病院を小学生向けに改良しなくてはならない、という問題が浮上したため、対応した。

具体的には、

- ・ カルテの表記の一部を漢字+ルビにした。
- ・ カルテに書きこむときも同様に、なるべく漢字+ルビで書くように取り決めた。
- ・ 今回私たちは初めてぬいぐるみ病院で診察を行うため、全員が初心者であった。練習するために、予想できる主訴と対応する病気、その病気の説明、診察、処置の

方法を話し合っただけでまとめたものを保育園児用に作ったのだが、それを改良し、各項目の種類を増やし、病気の説明も細かいものにした。

たとえば、熱中症は学童ではすでに教育済みであり、学童が実際に言ってくる可能性があったので実際に来た場合の対策を考えた。

- ・ 整理券を作成し、実際の病院でのやりとりを再現した。
- ・ 保健教育がなかったため、代わりに心臓の働きを聴診器の説明時についてに勉強した。

小学校の理科の教科書に載っているような、心臓の位置・全身に血を送っていることを示す模式図を用意した。

- ・ 「今日はどうしたの?」の「どれくらい?」の欄を5段階の目盛りにし、言葉では言い表しにくい痛さの段階を伝わりやすくした。
- ・ 「お家に帰ってすること」欄に日付を前もって記入しておいた

#### <参加学生の反応>

園児の学習レベルが予想以上に高かったという意見が多かった。大学内の保育園であり、大学の教員・研究者等のお子さんが多く親が教育熱心である場合が多かったり、さらに学童でもレベルの高いお勉強をされており、総じて教育レベルが高いことが原因であると思われる。私たちが保健教育をまだ行っていなかったにもかかわらず、8歳で血液循環についておおよそ理解している子もいました。

#### <園児の反応（よい反応が得られた点について）>

想像よりも子供たちは賢く、しっかりしていた。例えば、心臓のはたらきを知っていたこと。また、緊張はしていたものの、話しかければ話し返してくれて、世間話もしやすかった。

#### <園児の反応（よい反応が得られなかった、もしくは收拾がつかなくなった点）>

「何も話してくれない子」がいたり、反抗期なのか(?)「医師・看護師の診察に否定したり、訂正したりする子」がいた。前者については、クローズド・クエスチョンに切り替えて対応。後者については、否定できる根拠があればそれを示し、否定できない・特にする必要のないものについては、その子に合わせるなどの対応をしました。

やはり、高学年の子はぬいぐるみのごっこ遊びに抵抗を覚えるようだった。

#### <失敗した点>

- ・ 児童の名前を聞き間違えた
- ・ 看護師役のカルテを書く時間が足りなかった
- ・ 布団をかけて寝るは季節的に無理なお約束だった。おなかに布団をかけるなど、条件

を付けてあげればよかったのでは？

- ・ 健康な子が来たとき、現在のカルテだと対応が困難

<その他>

全体としてはうまくいき、アンケートで保護者の方から高評価を頂いたが、やはり小学生に既存の形式を維持してぬいぐるみ病院を行うのは限界があると感じた。

総会で聞いた、筑波大学さんの「園児が医師役」というのが非常にいいアイデアだと思ったので、次回以降はこの形式を進めるかもしれない。

### **改善点**

<失敗した点を踏まえての改善点>

- ・ 席配置を工夫し、園児と看護師がもっと近くになるようにし、聞き取りやすくする。
- ・ 医師役の人がペース配分し、カルテを埋めること以外のことも聞いてみたり、診察の説明をはさんだりする。
- ・ 健康診断用のカルテを作成する

<アンケート結果を踏まえての改善点>

- ・ カルテのどこが痛いのか欄に体の絵を描いて○をつけるほうがわかりやすいのではないか
- ・ 今回は見送ったレントゲン、薬局等の設備を作り、本格的なものにしたい
- ・ 聴診器をあてる場所が分からなかったなので、聴診部位の確認を行いたい
- ・ キット内の道具の確認が不十分だった
- ・ 診察時のことを思い出してもらうために、医師看護師の名前を書く欄を設けたい。

以上